



ぐんま暮らしのトリセツ

＜ 太田・館林・邑楽地域 ＞



7つのまち・7つの魅力、
あなたらしいライフスタイルの
見つけ方



太田・館林・邑楽地域

って、

こんなところ

群馬県の南東部に位置する

太田市・館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町は、「鶴舞う形」といわれる群馬県の中で鶴の頭とくちばしに当たる地域です。7つのまちそれぞれに魅力と特色があり、アクティブライフも、のんびりスローライフも満喫できます。都心部はもちろん、埼玉県・栃木県・茨城県とも平地続きで交流も多く、生活圈や行動範囲が県境をまたいで広がられるので、転職しない移住も十分可能です。ものづくりが盛んで地域内で職を見つけやすいほか、就農支援に力を入れているまちもあります。自分らしいライフスタイルにぴったりなまちを見つけてみませんか。

Let's Enjoy!!



大泉町
国際色豊かでコンパクトな工業都市
〈 都内まで 80 分 〉

千代田町
農業と工業が一体化したまち
〈 都内まで 80 分 〉

太田市
「住みよさランキング」毎年県内上位
〈 都内まで 80 分 〉

邑楽町
白鳥が飛来する豊かな自然環境のまち
〈 都内まで 60 分 〉

館林市
日本遺産の里沼と歴史ある城下町
〈 都内まで 60 分 〉

板倉町
渡良瀬遊水地に面した群馬県で最も東のまち
〈 都内まで 60 分 〉

明和町
水と緑と田園風景の広がるまち
〈 都内まで 60 分 〉



太田・館林・邑楽地域への移住をお考えの方へ

ココを「チェック」してください。

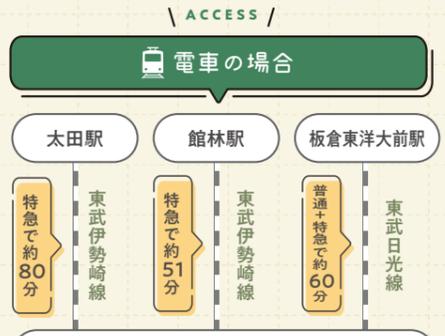
どんな暮らしを思い描いていますか？
これらのポイントをチェックして、自分らしい暮らし方を見つけましょう。

チェック01 「移動が楽」

このエリアから移動する際の主な交通網は、下図のとおり。都内まで電車で60～80分。近県への移動も楽なので、職場を変えずに移住が可能。また、高校生や大学生は、自宅から通学できる学校の選択肢が広がります。交通の便が良いから、お買い物やレジャーにも気軽に出掛けられますよ。

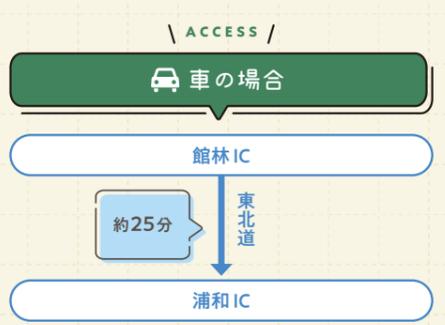


自動車なら
東北道や北関東道、圏央道で、
通勤やレジャー、
お買い物も！



北千住駅には東武鉄道のほかにJR常磐線、東京メトロ日比谷線・千代田線、つくばエクスプレスが乗り入れています。

どのまちからも最寄駅から
都内まで
電車で60分～80分



チェック02 「家計にゆとり」

群馬県の物価の安さは全国トップクラスです。家賃は東京の1/2以下。地価も安いので、広々とした庭付き一戸建ても夢ではありません。



物価水準

ぐんまは格段に物価が安い！



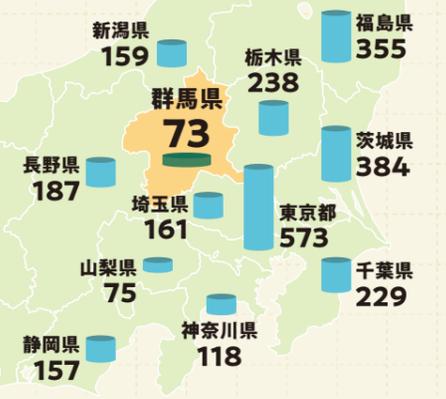
「晴れの日が多い」

年間の日照時間全国5位を誇る群馬県の中でも、晴れの日が多いエリアで、自宅屋根上での太陽光発電にも適しています。空が広く、年間を通して洗濯物もよく乾き、気持ちのいい日差しが届きます。

年間日照時間



全国トップクラスの日照時間！



気象庁・震度データベース (1919年1月1日～2022年3月31日)

地震や台風、水害など自然災害が少ないエリアです。過去100年間の震度4以上の地震回数は近県に比べて断然少なく、万一首都直下地震が発生してもほとんどの地域が震度5強以下と想定されているので、大手企業のデータセンターも立地します。

震度4以上の地震回数

近県と比べて断然少ない！

高校卒業まで通院費を含めた医療費無料*という全国トップクラスの施策に加え、7市町それぞれに特色ある子育て支援策を実施しています。子育て中のご家庭は、どんなサポートが受けられるか、ぜひ事前にご確認ください。 p14→



「7市町それぞれに万全の子育てサポート」

*2023年度以降、高校生世代(18歳の年度末)まで無料化の予定

医療費無料 高校卒業まで*

チェック03 「災害が少ない」

チェック05

都内に通勤、スローライフも満喫

転職しない移住を実現した黛さんファミリー。電車でもマイカーでもラクラク通勤できてストレスフリー。田園風景の広がる中で、スローな暮らしを満喫している。

Profile

黛 泰輔さん・彩子さん

埼玉県鴻巣市 ⇨ 明和町 (2017年移住)

泰輔さん・彩子さん夫婦と、想太君(中3)・咲南さん(小6)の4人家族。泰輔さんは移住前と同じ職場まで電車で約1時間半、マイカーで約1時間の通勤時間。彩子さんは埼玉県羽生市に職を得て約20分のマイカー通勤。休日には、サイクリングや庭でのBBQを楽しんでいる。



黛さんの通勤ライフ

電車の場合
(1時間35分)



マイカーの場合
(約1時間)



田園風景の広がる田舎に住みたい

実家が明和町という彩子さんは、家を建てるなら都会ではなく田園風景の広がる場所がいいと願っていた。泰輔さんの通勤圏で彩子さんの希望も考慮し、埼玉県北部から群馬県南東部で土地を探していたところ、希望条件を満たした土地が見つかった。川俣駅から約300m、目の前には広々とした田園風景という絶好の場所だった。

「日当たりがいいので冬は暖房がいらないくらいなんです」と彩子さん。約100坪の土地に建てた住宅は、泰輔さんと彩子さんのこだわりが随所に感じられる。南向きの大きな窓からは陽光がさんさんとふり注ぎ、窓の外には見渡す限りに広がる四季折々の田園風景。リビングにつながるウッドデッキは開放感いっぱい、庭で植物を育てたり、バーベキューを楽しんだり、家族のくつろぎの時間を演出する。集合住宅や住宅密集地では音が気になるピアノの練習も、ここなら気兼ねなく弾ける。

近くの利根川の土手にあるサイクリングロードからは、富士山も眺められ、サイクリング好きの一家にはぴったり。休日には、一家でサイクリングに出かけることも多く、群馬・栃木・埼玉・茨城の4県にまたがる広大な渡良瀬遊水地を自転車で巡ったこともあるという。

ますます便利に、快適になるまち

移住して6年、これまで特に困ったことなどはないが、近年の都市化だけは想定外だったという。

再開発が進む川俣駅周辺には、2021年に明和セントラル病院が開業。2023年オープン予定のホテル温浴複合施設の建設も進む。道路も拡幅され、国道122号バイパス沿いには大型ショッピングセンターも近々開店する。

「田舎町だと思っていたので、どんどん開発が進んでいることは驚きです。病院まで歩いて行けるようになったのは特にうれしい。買い物も、館林市や埼玉県羽生

市まで出かけても10分かんないくらいでしたが、もっと便利になりますね」と彩子さん。泰輔さんは「ロードサイドには新しいお店もできるでしょうし、温泉施設ができるのも楽しみです。どんなに都市化が進んでも、町民に対して対応が手厚く、早いことなどは小さな町ならではの」と、明和町の住みよさを語る。

自然環境の良さと便利で快適な住環境が両立する明和町への移住は、黛さん一家にとって大正解だったようだ。



1. 電車通勤は家から徒歩2分の川俣駅が最寄り。職場までドアtoドアで1時間35分。川俣駅から朝6時台には浅草駅までの直通列車が10分おきに走る。
2. 高校時代に同級生として知り合った黛さん夫妻。移住当時、小学4年生だった長男の想太君も入学したての咲南さんも、すぐに学校になじみ、子ども会の行事を通して親同士も親しくなった。
3. 平屋建ての黛邸は目の前に遮るものがなく、開放的なウッドデッキや庭が休日の楽しみを広がってくれる。

都心の職場までラクラク通勤

都心の会社に勤務する泰輔さんは、彩子さんとの結婚を機に埼玉県鴻巣市に居を構え、以来10年間、同市の集合住宅で暮らした。明和町に移住したのは6年前。長女・咲南さんの小学校入学のタイミン

グで土地を購入し、一戸建てを建てて移住した。「職場まで通勤できることが決め手でした。移住前には、JR鴻巣駅から日本橋の職場まで約1時間20分、電車はいつも混んでいて座れたことがなかったんです。ここなら最寄りの東武伊勢崎線・川俣駅から座って通勤でき、所要時間も10分程度の違いです。毎日のことなので、ストレス

のかかり方が違いますね」と泰輔さん。コロナ禍以降はマイカー中心の通勤に切り替えた。高速道路を使い、最寄りの東北道・館林ICから乗って首都高・浜町ICで降りる。渋滞する時間を避けて5時半に家を出るので、6時半には出社できるという。職場を変えることなく、庭付き一戸建てに住むという夢を叶えることができた。



マイホームを建てたい!

マイホームを建てて移住した黛さんファミリー。右図のように、群馬県の土地付住宅の購入費は東京と比べて断然安く、敷地面積は東京の約2.5倍。庭でガーデニングを楽しむ人も全国一多い※1。

なかでも平地の広がる太田・館林・邑楽地域は、可住面積も県内他地域より圧倒的に広い。

※1 社会生活基本調査47都道府県ランキング (R3)
 ※2 住宅金融支援機構・フラット35利用者調査 (R2)
 ※3 総務省・統計でみる都道府県のすがた (H30)

住宅購入資金 ※2

¥3702.1万

群馬9位

※土地付注文住宅

東京47位/¥6110.0万

住宅の敷地面積 ※3

群馬9位 338㎡

※1住宅あたり

東京46位/139㎡



詳しくはこちら!



豊かな自然の中で、農家に転身

農業未経験ながら、都内から移住して新規就農したご夫婦。
SNSを駆使して販路を開拓し、お客様と信頼でつながる農家を目指している。

Profile

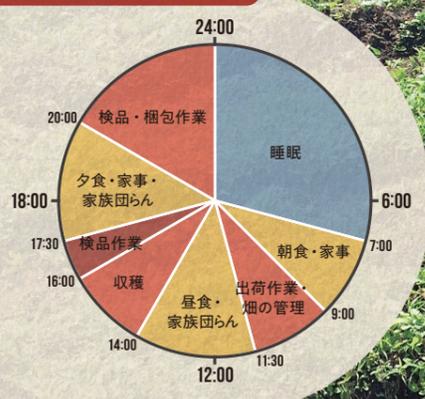
金田友輝さん・なつみさん

東京都狛江市 ⇨ 邑楽町 (2019年移住)

友輝さん・なつみさん夫婦と移住後に生まれた1歳半の息子さんの3人家族。自然豊かなところで暮らしたいと邑楽町に移住。新規就農して自然栽培農法で野菜を育て、ネット販売。緑あふれる環境の中で、仕事も子育ても充実した日々を送っている。



ある日の金田さんの農家ライフ



適度な田舎で農業をやってみたいと

埼玉県久喜市出身で保育士として都内に勤務していた友輝さんと、埼玉県加須市出身のなつみさんは、結婚後も都内で暮らしていたが、都会の生活に息苦しさを感じ、自然豊かなところで暮らしたいと思うようになった。

そこで、友輝さんの祖母の残した家と畑がある邑楽町への移住を決めた。最初から農家になろうと決意していたわけではなく、「とりあえず祖母の家が空いているので、移住して暮らしながら考えよう」くらいの気持ちだったという。

なつみさんにとっては初めての土地

だったが、気さくに接してくれるご近所の方に、都会とは違う人の温かさを感じて感動した。「時間の流れが都会とは全く違って、ゆったりと流れているように感じ、気持ちにもゆとりが生まれました。のどかな風景にも癒されました」と、邑楽町での暮らしをすっかり気に入った。移住してすぐに庭で家庭菜園を始めたなつみさんは、ご近所の方から野菜作りのアドバイスをもらったり、畑で採れた野菜を交換したりしながら、周りとのいい関係を築いていった。そんな中、保育士時代に食育の重要性を感じていた友輝さんも農業に興味を持つようになった。

そこで、自然栽培をしている農家で約1年間の研修を受け、祖母の残してくれた畑で本格的に農業を開始。農業や肥料

を使わず、自然の力を生かす農法で、今では約40品目70種類を育てている。冬も降雪せず、イノシシなどの被害もなく、四季を通して栽培できるこの地域は、むしろ自分たちのやりたい農業に向いているという。



SNSを活用して販売、横のつながりもできた

野菜の販売には主にSNSを活用。少量多品目の季節の野菜をセットにして箱に詰め、全国発送する。また、近くの方には農園まで取りに来ていただく。その他、地元のスーパーの地場産コーナーやマルシェなどのイベントにも出店している。「無農業だからいいということではなく、私たちの人柄を見て、信頼して買っていただくのが一番」と、顔の見える農家を目指す。イベントでは、出店者同士の横のつながりもでき、飲食店で取り扱ってくださることも増えてきた。

価値あるものを提供したいと、無農薬では避けられない虫のチェックなど、検品・梱包に半日はかける丁寧さ。それでも、お客様に喜んでいただき、おいしいという声を聞くことがやりがいになっている。

まだまだ理想と現実と悩むことも多いが、目標は100年後、200年後もこの畑を残していくこと。そして、この事業を継続し、軌道に乗せることだという。

のびのび子育て、近くで観光気分も味わえる

お子さんが生まれてからは、なつみさんは子育てに追われるようになったが、自然の中でのびのび子育てできる環境に満足している。

仕事の合間には、お子さんをベビーカーに乗せて近所を散歩するのが金田家の日課だ。「広い公園が近くがあって、安心して子どもを遊ばせられます。自然と触れ合える環境で、いろいろ体験させながら子育てできるのがうれしいですね」と友輝さん。なつみさんも、「近くにある子育て支援センターや図書館はよく利用していて、親しいお友達もできました」という。

公園や支援センターで出会ったママ友は、知り合いのいない土地で初めての子育てをするなつみさんの強い味方で、子育て情報を教わることも多い。小児科も病院も近くがあって、いざというときも安心な上、買い物など日常生活での不便も感じていない。大型ショッピングセンターのある太田市まで出かけてもマイ

カーで約20分。都市部にもほどよい近さで、適度な田舎でのゆとりある暮らしは、かつて「こんなふうに暮らしたい」と思い描いていたものだった。

毎年楽しみにしているのが、夏の風物詩になっている町の花火大会。都会と違って人混みにストレスを感じることなく、間近で観覧できるのがとてもうれしい。時には多々良沼に白鳥を見に行ったり、館林美術館に出かけたり……。実家のある埼玉県も近く、栃木県の足利市にもよく出かける。ここに住むようになって県境を意識しなくなったという二人。「遠くに出かけなくても、近郊だけで観光気分を味わえるのが、この地域の良さですね」と語ってくれた。

1. 子どもが生まれて「食」の大切さをより実感するという金田さん夫妻。「野菜嫌いのお子さんが野菜を食べるようになった」と、うれしい声を聞くことも多い。
2. 季節ごとの野菜セットを箱詰めして販売（写真は夏野菜）。皮ごと安心して食べられ、野菜本来の味がすると評判だ。
3. 農作業が一段落したら、近くの公園まで散歩に出かけるのが日課だという。



農業を始めてみたい!

広々とした農地が広がる太田・館林・邑楽地域では、小麦やきゅうり、梨、花き栽培などが盛ん。未経験から新規就農したいなら、まずは「ぐんま新規就農ポータルサイト」※1で情報を集め、「農業フェア」などにも参加して、相談してみよう。また、「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」※2でも新規就農者を支援している。

※1 ぐんま新規就農ポータルサイト



※2 邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会



Profile

佐藤雄一郎さん・早苗さん

神奈川県横浜市⇨館林市(2016年移住)

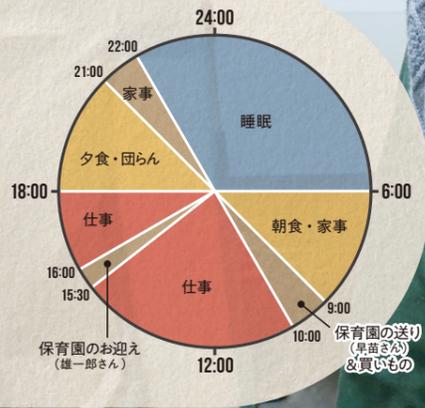
東京・神田生まれの雄一郎さん、横浜市生まれの早苗さん夫婦と、龍くん(小3)・咲月ちゃん(4歳)の4人家族。移住して自宅兼店舗で自家焙煎コーヒー店を開業したのが7年前。移住後に咲月ちゃんも生まれ、子育てと仕事を両立しながら、人々に愛される店のスタイルを守っている。

のびのび子育て、店舗開業の夢も実現

横浜から移住し、本格的な自家焙煎コーヒー店を開業した佐藤さん夫婦。人が温かく、ゆとりを持って子育てできる環境に満足している。



ある日の佐藤さんの 子育て&仕事ライフ



自宅を兼ねた店舗を開く 夢を追って

横浜で喫茶店を営んでいた佐藤さん夫婦には、「いつか自宅を兼ねた一軒家で自分たちの店を開きたい」という夢があった。長男の龍くんもまだ小さく、仕事と育児の両立が難しかったからだ。また、都会では、自宅と店舗の両方にかかる家賃や税金などの経費が、地方とは比較にならないくらい高かったという。

転機は7年前に訪れた。長く空き家になっていた雄一郎さんの親戚の家を相続できることになったのだ。二人ともこれまで群馬を訪れたことはなく、見知らぬ土地への移住となったが、夢を叶えたいという思いが勝った。また、当時2歳だった龍くんを自然豊かな場所で育てたいと

いう気持ちもあったという。

「周りの人々が温かく迎えてくれ、都会では考えられない親切さに感動しました」と早苗さん。金物屋だった居抜き店舗は物であふれ、片付けは想像以上に大変だった。「金物屋がまだ営業していた頃よりお付き合いのある方が快く手伝って下さいました。今も親戚のようなお付き合いをさせていただいています」という。改装に当たっては、必要最小限の工事だけ

を工務店に依頼し、自分たちで壁を塗ったり、いただき物やリサイクル品を利用したりして、3か月後には自家焙煎珈琲「copicopi(コピコピ)」をオープン。手づくり感満載の店内は、二人の温かい人柄をよく表すとともに、レイアウトやオブジェにもこだわりを感じる。店舗の奥は住居スペースで、お店に立ちながら子どもの世話もできるような造りにした。



自家焙煎コーヒー店「copicopi(コピコピ)」の前に並ぶ佐藤さんファミリー。雄一郎さんのビンテージバイクにまたがるのは長男の龍くん。



「ここを選んでよかった」と笑顔で話してくれたご夫婦。

のびのび育てたいという 願いも叶った

「子どもは地方でのびのび育てたいというのが、僕たちの願いだった」と話す雄一郎さん。都会育ちの二人にとって、館林のゆとりある環境は驚きの連続だったようだ。早苗さんは「一番びっくりしたのは保育園の広さです。館林の保育園は都会の保育園が10園くらい入ってしまいそうなほどでした。横浜では、役所に何度も相談してやっと保育園に入ることができました」という。保育園だけでなく、どこに行っても広々していると感じた。近所のスーパーマーケットの駐車場も「アメリカ映画で見たシーンのよう」と驚いたとか。

龍くんも、移住後に生まれた咲月ちゃんも、希望の保育園に入園することができ、時間外にはファミリー・サポート・センターなども利用しながら、仕事と子育てを両立させてきた。

最近では子育ても落ち着いてきて、早苗さんは子ども会の役員を引き受けた。自治会の高齢者と一緒に活動することから、町内の人との関わりも密になったという。廃品回収や

ゲートボールの行事、群馬県の郷土かるた「上毛かるた」の練習会などにも参加。子どもたちの顔を町内の人にも知ってもらったことで、防犯の面でもよかったと思っている。

上州人の “義理人情”に感動

オープンから7年。こだわりの豆選びと確かな焙煎技術が評判を呼び、常連客もずいぶん増えた。「お客様と絆を結ぶには館林でよかった」と雄一郎さん。人間味あふれる付き合いができ、応援してもらっていることを肌で感じるとか。「私たちもできる限りのいいサービスをしようと思う」という早苗さんは、上州人気質を表す上毛かるたの『雷とからっ風義理人情』を実感する日々だ。

お客様から採れたての野菜をいただいたり、料理の作り方を教わったり。温泉好きだと言うと、あちこちの温泉の情報を教えてくれる人もいる。都会とは異なる人との距離感に慣れるまで時間がかかったが、今ではそれを楽しむと同時に心からありがたいことだと感じている。

コロナ禍では開店時間を短縮したが、常連客は変わらず来店してくれた。「みなさん、ほっとする癒しの時間を求めてきてくださいます」と早苗さん。「コピコピのコーヒーを飲まないで、コーヒー難民になっちゃう」という大ファンもいるほど愛される店になった。閉店後のテイクアウトや焙煎豆の販売窓口も新たに設けた。家で本格コーヒーを楽しむ人が増え、豆の需要は逆に増えたとか。

「コピコピという店も生き物。コーヒーを飲むだけでなく他にも店はあるけれど、コミュニケーションや癒しの時間を提供する、この店のスタイルを守っていきたい」という雄一郎さんの隣で、早苗さんが笑顔でうなずく。優しく、温かい二人の雰囲気、この店のファンを増やしている。

1. 早苗さんが丁寧にハンドドリップを始めると、芳しい香りが店舗内に一気に広がる。
2. 産地ごとに並ぶ焙煎前の生豆。品質の良い豆を選ぶ目利きと焙煎技術が味の決め手。
3. 「おいしく入りました!」と早苗さんが淹れてくれたコーヒーは、味わう前からおいしさが伝わる。
4. 癒しの空間を提供したいという店内には、お客様に自由に弾いてもらうためのギターや、珍しい手挽きコーヒーミルなども置かれている。



子育てと仕事を両立したい!

遠くに出かけなくても身近に広い公園がたくさんある太田・館林・邑楽地域。自然の中でのびのび子育てできる環境が整っており、群馬県の子育て満足度ランキングは関東1位だ。

群馬県の0~5歳人口10万人あたりの保育所の数は東京より多く※1、都会では深刻な待機児童問題も発生していない※2。

※1 総務省・統計でみる都道府県のすがた (R2)
※2 厚生労働省・保育所等関連状況とりまとめ (R4)

保育所数※1

582 群馬 23位

534 東京 28位

待機児童数※2

1人 群馬 15位

300人 東京 45位



近くに広い公園がたくさんあるのもうれしい!

仕事も遊びも、東京の郊外暮らし気分

イラストレーターとして全国的に活躍している山本さん。お子さんの入園を機に太田市に移住し、在宅で仕事をしながら、都内へもフットワーク軽く行き来している。

Profile

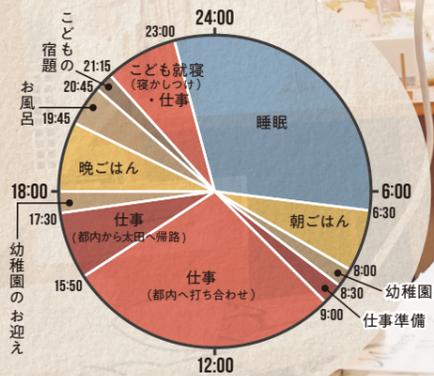
山本 茜さん

東京都台東区 ⇨ 太田市 (2020年移住)

出身は富山県富山市。周弥くん(5歳)と愛犬いちごちゃんとともに東武線・太田駅近くのマンション暮らし。フリーのイラストレーターとして仕事は在宅で行うが、大手出版社からの受注も多く、顧客との打ち合わせや展示会などで定期的に東京に向かっている。また、プライベートでも電車好きな周弥くんと東京まで遊びに出かけることもよくある。



ある日の山本さんの 子育て&仕事ライフ



子どもにやさしく

温かいまち

イラストレーターとして都内でハードな仕事をこなし、キャリアを積んできた山本さんは、周弥くんが生まれてから東京での生活に困難や不便を感じるようになった。「スーパーやファミレスなどに出かけると、子ども連れというだけで煙たがられるんです。幼い子どもが走り回ったり、大声を出したりするのは当たり前だと思いますが、東京では非難の視線を感じて肩身の狭い思いをしていました。保育園や幼稚園も条件のいいところにはなかなか入れません。仕事は在宅でできるし、子育て環境を考えると地方の方が絶対いいと思って」と、移住のきっかけを語る。

周弥くんの入園のタイミングで東武線・

太田駅近くのマンションへ転居した。太田市を選んだのは、ご主人が仕事の関係で太田を拠点にしていたことから。そのご主人を昨年病気で亡くしたが、太田を離れようとは全く思わないくらい愛着あるまちになったという。「人の温かさが格段に違いますね。子どもと一緒にいて嫌な思いをすることがなくなり、ゆとりを持って子育てできるようになりました」と山本さん。10階のお住まいからは電車もよく見え、周弥くんもここが大好きになったそうだ。

広がるネットワークで

新たな展開も

当初は知り合いが一人もない土地への移住に不安もあったが、今では知り合

いの輪がどんどん広がっている。「プロフィール写真の撮影のためにフォトグラファーを探したのですが、その方が市のパンフレット『OTA magazine』の市民ライターや、『なでしこ未来塾』という起業する人向けのワークショップの運営に参加しておられたのです。私も参加してみたら、そこから一気にネットワークが広がりました」という。さまざまな分野で才能あふれる人々に出会ったことも、太田に住み続けた理由の一つだ。

山本さんの描くイラストは、繊細なタッチとロマンチックな色合いに誰もが心癒される。これまでは出版社が集中している東京や大阪などで実績を積んできたが、今後は太田でつながった人々とコラボして、新たな企画を考えている。『『ホスピタルアート』をやりたいと思っています。実は、主人の闘病中、病院の中の殺伐とし

た雰囲気があったまらなかったんです。闘病中でも四季を感じられるように、毎月季節にちなんだイラストのポストカードを院内に置かせてもらい、心の癒しにしてもらえれば」と、構想を語る。カードの置き台は捨てられている素材を活かす活動をしている人に、事業のプロデュースは得意な人にと、一人では無理なことも、ネットワークを生かすことで実現の見通しが立った。

都内とのアクセスの良さも

うれしい

基本は在宅で仕事をしているが、顧客との打ち合わせなどでは都内に出かけることも多い。「太田駅から乗り継ぎなしで浅草駅まで1時間20分。特急券は携帯で買えるので、乗車直前でもピッと押すだけでとても手軽です。逆に、ご近所の皆さんが都内通勤しないのが不思議なくらい」と、アクセスの良さも大きな魅力だという。毎年開かれる東京ビッグサイトでの展示会にも出展するが、じゅうぶん日帰りができるそうだ。

仕事は、周弥くんの送り迎えの時間に合わせて調整している。最長午前7時半から午後6時半まで園に預けられるので、都内に出かけても間に合う。また、どうしても間に合わないときには訪問保育サービスを利用している。こちらも未来塾のつながりで、起業してベビーシッターサービスを始めた卒業生がいたのだ。夜間や病気のときも対応可能というから心強い。他にも、「困ったときは預かるよ」と言ってくれる友達もできた。

休日には、電車が大好きな周弥くんと特急に乗って上野まで行き、公園で遊んで、電車で帰ってくるという過ごし方もする。山本さんにとって、都内はすぐお隣のまちという感覚だ。

心豊かに過ごせる

コンパクトシティ

出かけずに家の中で過ごしても、窓から陽光がさんさんと降り注ぎ、ゆったりとした雰囲気を感じて豊かな気分になれるという。「日当たりが良くて夕焼けもす

ごくきれい。マジックアワーの絶景は見とれてしまうくらいです。富山の実家から訪れた母も、空の青さに驚いていました」。自宅近くには太田市美術館・図書館があり、参考資料を探したり、周弥くんと絵本を選んだり、館内のカフェでのんびりしたり……。自宅から眺める夜のライトアップもきれいだとか。

どこに行っても知り合いに出会う、このまちのコンパクトさが気に入っている。「いろんな活動をしている人がいて、いろんな人とつながれるというのは東京では経験しなかったこと。頑張っている女性をみんなが応援してくれるまちですね」と、締めくくってくれた。

1. 見ているだけで心癒される「ホスピタルアート」の見本。
2. 時にはキッチンを仕事場として使うことも。周弥くんの様子を見たり、ベランダ越しに外の景色を眺めたり、気分転換できるそうだ。
3. 駅北口にある太田市美術館・図書館はお気に入りの場所。ここで開かれた『OTA magazine』の市民ライターワークショップで、たくさん仲間を作ることができた。
4. 自宅からすぐの太田駅。特急券は乗車直前でもスマホで購入できる。



車で出掛けたい!

ペーパードライバーで運転に不安があったという山本さんが、群馬の道は走りやすく、すぐに慣れたとか。

人口1人あたりの自家用車普及台数が全国1位と、圧倒的に車社会の群馬県。必須ではないが、車があった方が行動範囲も広がる。

自宅の敷地面積が広いので車を駐車できる場合が多く、スーパーマーケットなど生活に必要なほとんどの施設は、無料の大きな駐車場を備えている。県内の有名な温泉地は都内より近く、近隣の観光地へ遊びに行くのにもマイカーならさらに便利だ。また、パーク&ライドできる駅も多いので、都内へ行くのも困らない。

※1 一般財団法人自動車検査登録情報協会 (R3)



電車が大好きな周弥くんと都内へおでかけ。



市町別 インフォメーション

太田・館林・邑楽地域の個性あふれる7つのまち。
どのまちも積極的に移住・定住促進に取り組んでいます。
あなたらしいライフスタイルにぴったりのまちを
見つけてください！



太田市 [おおたし]

全国有数の工業都市として活気に満ちたまち。都心へのアクセス抜群で、緑あふれる公園が多く、文化活動やスポーツも盛ん。利便度・快適度・富裕度で評価を得て、「住みよさランキング」(東洋経済)では毎年県内上位にランクイン。東武伊勢崎線太田駅北口には「太田市美術館・図書館」があり、2023年にはプロバスケットボールチームのホームでもある総合体育館(オープンハウスアリーナ太田)もオープン。

人口222,443人/世帯数99,830世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療・不育症治療助成
- 第3子以降保育料無料
- 未就学児童給食費助成
- 放課後児童支援(こどもプラッツ)
- 小・中学生学校給食費無料化
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 各種奨学金制度

住宅・生活

- 住宅用再エネ機器導入報奨金

農業体験・就農

- 市民農園

就労・起業

- 創業経営安定資金
- 女性起業支援(おわたなでこ未来塾)

問い合わせ先 太田市企画政策課
群馬県太田市浜町2-35
TEL.0276-47-1892
Eメール 005200@mx.city.ota.gunma.jp

館林市 [たてばやし]

東京まで約1時間でアクセス可能。自然災害も少なく、企業にも選ばれている。また、茂林寺沼・多々良沼・城沼など日本遺産にも登録されている「里沼」の景観も館林市を特徴づける。豊かな自然環境と、総合病院や大型ショッピングモールなど都市環境が共存した住みやすい街。移住コーディネーターに相談も可能。

人口74,334人/世帯数34,066世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 妊婦歯科健診助成・多胎妊婦健診助成
- 産前産後サポート・産後ケア事業
- 子ども誕生祝金
- 第3子以降給食費無料
- 放課後児童クラブ保育料補助
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 館林市奨学金貸与
- 定住促進通学支援金

住宅・生活

- 市営住宅紹介・空き家バンク
- 空き家活用助成金
- 市有地活用移住定住支援金
- 住宅リフォーム助成金・多世代同居支援助成金
- 結婚新生活支援補助金

農業体験・就農

- 新規就農支援
- 市民農園

就労・起業

- 移住定住促進通学支援金
- Uターン支援奨励金
- 定住新卒就職者奨励金
- 創業支援事業

問い合わせ先 館林市企画課
群馬県館林市城町1-1
TEL.0276-47-5102
Eメール kikaku@city.tatebayashi.gunma.jp

板倉町 [いたくらまち]

群馬県の最東南端にあり、ラムサール条約湿地・渡良瀬遊水地のある自然豊かな町。都心まで約60kmと県内で最も東京に近く、電車でも車で約1時間。板倉ニュータウンに移住された方に、町独自の移住支援金を支給するほか、子育て世代への支援策が充実している。

人口13,841人/世帯数5,851世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療・不育症治療助成
- 産後ケア事業
- 0歳児紙おむつ券給付
- チャイルドシート購入費補助
- 子育て支援金支給
- 小中学校給食費無料
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 奨学金貸付
- 英語検定料半額助成

住宅・生活

- 町営住宅の紹介
- 板倉ニュータウン移住支援
- 勤労者住宅資金融資
- 住宅取得支援
- 住宅リフォーム支援

農業体験・就農

- 貸し農園(ふれあいファームいたくら)

就労・起業

- 創業支援事業

問い合わせ先 板倉町企画財政課
群馬県邑楽郡板倉町大字板倉2682-1
TEL.0276-82-1111
Eメール k-kikaku@town.gunma-itakura.lg.jp

明和町 [めいわまち]

水と緑が豊富で、梨の栽培や施設園芸が盛ん。県内でも東京に一番近いエリアで、東京(北千住駅)まで電車で約1時間。日本一の就農支援と子育て支援、企業力が自慢のまち。東武伊勢崎線川俣駅周辺の再開発も進む。「仕事が好き、家族が好き」な方にも住みよい町を目指している。

人口10,878人/世帯数4,317世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療・不育症治療助成
- 出産祝金支給
- 産後ケア事業
- チャイルドシート購入費補助
- 第3子以降保育料無料
- 子どものインフルエンザ予防接種助成
- こども園ハローイングリッシュ事業
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 奨学金貸与
- 英語検定補助

住宅・生活

- 町営住宅の紹介
- 住宅リフォーム補助金
- 結婚新生活支援補助金

農業体験・就農

- ゴミ収集指定袋無料(一部)
- 防災行政無線受信機貸出し

就労・起業

- 明和Mターン促進奨励金
- 勤労者生活資金
- 創業支援事業
- 介護施設就労者支援

問い合わせ先 明和町総務課政策室
群馬県邑楽郡明和町新里250-1
TEL.0276-84-3111
Eメール kikaku@town.gunma-meiva.lg.jp

千代田町 [ちよだまち]

東西に細長く平坦で、水と緑豊かな町。米麦作中心の農業と、2つの工業団地による工業が高度に一体化して発展。都心へ約90分でアクセスでき、通勤も可能。待機児童ゼロを継続中で、若い世代や子育て世代が安心して暮らせるまちを目指している。

人口11,013人/世帯数4,628世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療・不育症治療助成
- 産前産後サポート・産後ケア事業
- 一時預かり事業
- 子育て世代包括支援センター
- 第3子以降保育料無料
- 町立こども園給食費軽減
- 子育て育児用品購入費助成
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 奨学金貸与
- 英語検定補助
- 電車による遠距離通学者助成

住宅・生活

- 町営住宅の紹介
- 移住者住宅取得費等補助金
- 空き家等バンク
- 三世代ゆくり家族住宅取得等応援事業
- 結婚新生活支援補助金

農業体験・就農

- 定住促進住宅用地(ふれあいタウンちよだ)分譲
- 勤労者住宅資金利子補給
- 住宅リフォーム補助金
- 結婚新生活支援補助金

就労・起業

- 創業支援事業

問い合わせ先 千代田町企画財政課
群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1895-1
TEL.0276-86-7007
Eメール kikaku@town.chiyoda.gunma.jp

大泉町 [おおいずみまち]

面積は県内最小のコンパクトな町でありながら、電機・自動車関連企業が数多く立地し、北関東屈指の製造品出荷額を誇る町。「いずみ緑道」をはじめ数多く整備された公園には緑があふれる。また、人口の約19%を外国人が占め、国際色豊かな町としても知られている。都心部への通勤者も多い。

人口41,705人/世帯数20,143世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療・不育症治療費助成
- 産後ケア事業
- ブックスタート事業
- 子育て世代包括支援センター
- ファミリー・サポート・センター/ママヘルプ事業
- 学校給食費一部補助
- 学童保育学習サポート
- 子どものインフルエンザ予防接種助成
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料

住宅・生活

- 町営住宅の紹介
- 大泉町空家等バンク事業
- 住宅リフォーム補助金

農業体験・就農

- 生ごみ処理機器購入費補助
- 電気自動車等導入費補助
- 農園の貸し出し

就労・起業

- 創業支援事業
- 空き店舗等活用・創業促進事業補助
- 介護職員研修補助・看護職員入学金補助

問い合わせ先 大泉町企画戦略課
群馬県邑楽郡大泉町日の出55-1
TEL.0276-63-3111
Eメール kikaku@town.oizumi.gunma.jp

邑楽町 [おうらまち]

都心から約70km、標高が平均25mの平坦地で自然災害の少ない町。白鳥が飛来することで有名な多々良沼があり自然環境に恵まれている。東武小泉線中野駅周辺には市街地が形成され、行政機能は役場庁舎の周辺に集約。充実した子育て支援策のほか、日本トンガ友好協会や(株)ガスパ等とのスポーツ振興の取組も充実。

人口25,832人/世帯数10,707世帯(令和5年1月末日現在)

子育て

- 不妊治療不育症治療費助成
- 妊活LINEサポート
- 出産祝金支給
- 産後ケア事業
- 保育園・認定こども園

住宅・生活

- 町営・県営住宅の紹介
- 勤労者住宅資金融資
- 保育料多子軽減
- 保育園・認定こども園の給食費無料
- 町立学童クラブ
- 民間放課後児童健全育成事業の多子軽減
- 高校生世代(18歳の年度末)まで医療費無料
- 入学準備金・奨学金貸付
- 英語検定料助成

就労・起業

- 創業支援事業

問い合わせ先 邑楽町企画課
群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2570-1
TEL.0276-47-5009
Eメール plan@swan.town.ora.gunma.jp

《 移住までの基本ステップ 》

移住までの過程における基本のステップをご紹介します。
「移住したいな」と思ったら、まずこのステップに沿ってシミュレーションしてみてください。



GOAL



移住生活をスタート！

いよいよ新しい生活がスタート。地域の活動に積極的に参加して地域になじんでいきましょう。



住まいを探す

住みたい地域が決まったら物件探しをスタート。住宅取得費の補助があるまちなら、ぜひ活用しましょう。館林市には空き家バンクもあります。転職しない移住も可能な地域ですが、仕事を探す場合の相談はハローワークのほかに「ぐんま暮らし支援センター」でも受け付けています。就業や起業、新規就農などに支援策のあるまちもあります。



現地に行ってみる

実際に現地に足を運んで、生活環境や公共施設、教育機関などを確認しましょう。市役所や町役場の移住相談窓口で、受けられる支援策や不明な点を確認することも大事です。移住体験イベントなどがあれば、ぜひ参加してみましょう。

START



情報を集める

住みたいまちの移住相談窓口やWEBサイトなどを利用して情報を集めましょう。どんな地域で、どんな暮らしがしたいか、家族みんなの希望が叶うように話し合いながら進めましょう。(各市町の窓口やWEBサイトはp14～)

群馬県全域の情報収集には

ぐんま暮らしポータルサイト「ぐんまな日々」



<https://gunmagurashi.pref.gunma.jp/>



「働く」「暮らし」「サポート」など、群馬県への移住に関する全般的な情報は、まずこちらをご参考に。移住イベントなどの情報も集められます。

東京都内にも相談窓口があります

ぐんま暮らし支援センター

<https://gunmagurashi.pref.gunma.jp/consultation/>



群馬県東京事務所

<https://www.pref.gunma.jp/soshiki/9/>

